



はなさと

第93号 24・10・1

TEL 35 - 5500

敬老会

去る九月五日、敬老の日を前に、毎年恒例の敬老会が盛大に開催されました。大正琴の演奏では美しい音色にうっとりし、懐かしい曲の演奏に思わず唄を口ずさんだり、皆さんそれぞれが楽しんでみえました。また、当職員による余興も披露しました。

(三沢あけみの三味線ブギに合わせてのセンスを使った踊り)。当然、ただ踊るだけではおもしろくないと、これまた恒例の仮装をしての踊りに、見ている利用者さんはもちろん、踊る職員もみな笑顔で、とても楽しい雰囲気になりました。練習時間が少なく、覚えるだけでも必死でしたが、利用者さんの笑顔が見たくて気持ちを込めて踊りました。みなさんいかがでしたでしょうか？ 来年も楽しみにして下さいね。



天使の調べ

澄みきつた青空と爽やかな秋風の吹く、九月二十二日土曜日昼下がりの事。宮小6年生4名が入所者

さんの心にさわやかな大正琴の調べを届けてくれました。二十四時間テレビでお馴染みの曲「サライ」など4曲を奏でてくれました。最後の演奏曲「見上げてごらん夜の星を」の時は本当に頭上に星空が広がって自分の身が宇宙に漂っている様な心持ちがしました。入所者さん、スタッフの心の琴線に触れ感動の涙が頬を伝いました。本当に有難うございました。またぜひ聞かせに来て下さいね。



坪内流三味線 光乃栄会と

ひだ晶子さん 来所

お彼岸が過ぎ、彼岸花も満開となった九月二十六日、坪内流三味線・光乃栄会のみなさんと、歌手のひだ晶子さんが来所してくださいました。短い時間でしたが、各階を回って演奏してくださいました。



三味線の演奏は迫力があり、演奏が終わるたびに感動が広がりました。「げんげの子」や「飛騨やんさ」など、耳になじみのある曲目も多く、みなさん嬉しそうな様子でした。また、三味線の演奏に合わせてひだ晶子さんの素敵な歌声も聞きました。一人一人と握手をされ、

最後の曲目「飛騨やんさ」では踊りもあり、ついっられて踊ってしまった職員もいました。とっても楽しく、思い出に残るひとときでした。

はなさと農園冬支度

夏の暑さも和らぎ、朝晩寒さを感じる日がやってきました。はなさと農園でも、夏野菜の収穫を終えました。先日、利用者さんと白菜の苗植えと大根の種まきを行いました。早速、白菜の苗は虫に食べられてしまい、防虫ネットで対策に追われています。大根は、少しずつ芽を出してきました。



夏に収穫できたカボチャの時のように給食で皆さんに食べてもらえることを楽しみにし、虫に負けるな、寒さに耐えろと毎日白菜、大根を応援しています。

十月の行事予定

通所サービスマン担当者会議

三日・十日・十七日・二十四日・三十一日(水)

運動会 十日(水)

さつまいも掘り 十七日(水)

芋きんとん作り 二十四日(水)

傾聴ボランティア 十七日(水)

花壇ボランティア 五日(金) 十九日(金)